

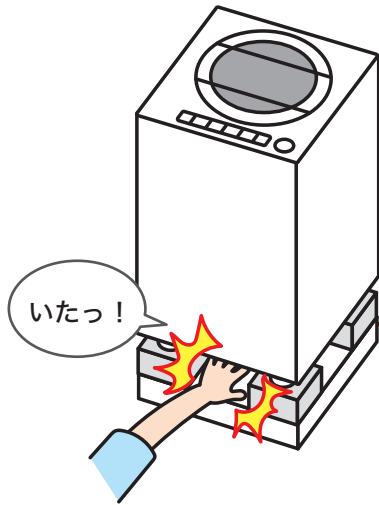


洗濯機の底面に手を入れて けがをする事故にご注意！

ごぞんじでしたか？
住宅部品 Vol.1

発行/一般財団法人ベターリビング

発行日/2022年12月20日

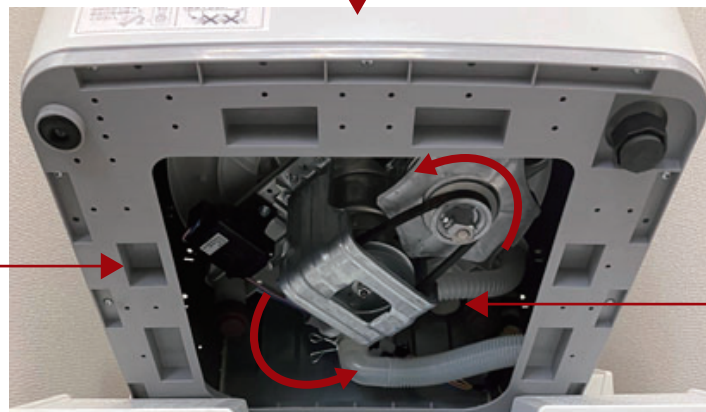


■洗濯機の裏側(底面)例

近年洗濯機の大型化などを背景に、お掃除などのしやすさから、かさ上げタイプの洗濯機用の防水パンや洗濯機用のかさ上げ台などが用いられることが増えています。縦型全自動洗濯機は、洗濯槽が吊り下げられる構造になっており、運搬時の洗濯槽の固定や設置時の排水管接続のため、底面が開いているものがあります。このため、洗濯機と防水パンや床面との間にすき間があると、子どもがいたずらで手を入れたり、お掃除をしようとして手を入れた場合、高速で回転している回転部に触れてしまい、けがをする危険があります。

知らなかった！

写真のように、底面が開いている洗濯機が多くあります。



キケンです！

洗濯機の運転中は、モーターが高速で回転しているため、手を入れると危険です。

事故例

自動洗濯機の底に手を入れ底部回転部で受傷した手指外傷

事例

年齢/2歳8か月 性別/男児
身長/79cm 体重/11.6kg

発生年月日・時刻

2020年7月X日(日)午前7時50分

傷害の種類

手指外傷

原因の対象物

縦型自動洗濯機(製造、購入共に2013年)

発生状況

自宅のリフォームをした際、配管を下に通すために縦型自動洗濯機の下に置き台(かさ上げタイプの防水パン)を設置した。洗濯機の脚の高さは1cm程度であり、床面やフラットな防水パンに設置された場合は子どもでも手が入ることはないが、本事例は洗濯機の下に7cmのすき間ができており、すき間に子どもが手を入れ、運転中の洗濯機でけがをした。

発生場所

自宅の洗面所

詳細はこちらからご確認ください。

2021年11月 小児学会HP Injury Alert(傷害速報)より抜粋

<https://www.jpeds.or.jp/modules/injuryalert/index.php?did=139>

洗濯機の事故を未然に防ぐために、どのような対策をとればよいのでしょうか。

消費者庁からの注意喚起

子どもの事故を受けて、消費者庁から次のような注意喚起がされています。

- 縦型全自動洗濯機を使用されているご家庭では設置状況を確認し、洗濯機と床や防水パンとの間に手や足が入り込むような隙間ができていないか確認しましょう。
- 隙間がある場合は、まずは隙間を覆い、安全な設置に変更できないか検討しましょう。
- 部屋の鍵をかける、ベビーゲートを設置するなど子どもを近づかせない対策を取りましょう。
(洗濯機に子どもを近づかせない対策は、洗濯中の洗濯槽に手を入れて洗濯物に巻き込まれたり、洗濯槽をのぞき込んで転落する事故などの予防にもなります。)

「子どもの安全メールfrom消費者庁」Vol.585運転中の縦型全自動洗濯機の下に手を入れ怪我をする事故に注意!
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20220318/

洗濯機用の防水パンの選び方・使い方による対策

防水パンの利用にあたっては、次のようなことに気を付けましょう。

- 洗濯機の運転中に防水パンや排水部分のお掃除をすることはやめましょう。
- 洗濯機の底面に手が入りにくい形状の防水パンを選びましょう。
- 防水パンの上にかさ上げ台などを用いて洗濯機の底面に隙間を作ることはやめましょう。

洗濯機用の防水パンとは

洗濯機の下に設置して用いる板状のものをいい、「防水パン」や「洗濯機パン」とよばれています。

■防水パン



■トラップ部



洗濯機用の防水パンは、防水パンとトラップ部や洗濯機排水ホースの固定器具等で構成されます。洗濯の際に出る水などを排出し、万一洗濯機から水漏れが発生した場合に、床への水漏れ被害を防ぐなどの役割があります。

(一財)ベターリビングでは『洗濯機用防水パン』の名称で基準を作成し、防水パンの底面に洗濯機を置くタイプをⅠ型、防水パンの四隅の立ち上がった面に洗濯機を置くタイプをⅡ型として分類し、優良な住宅部品(BL部品)として認定をおこなっています。

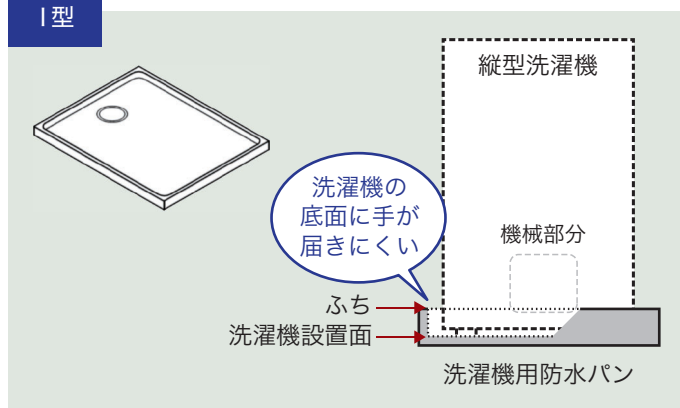
また、現在、Ⅱ型の四隅部分がさらにかさ上げされ立ち上がった面に洗濯機を置くタイプをⅢ型として、新たに、安全に使用することができる性能要件の検討を進めています。

洗濯機用の防水パンは、3種類ありますので参考にしてください。

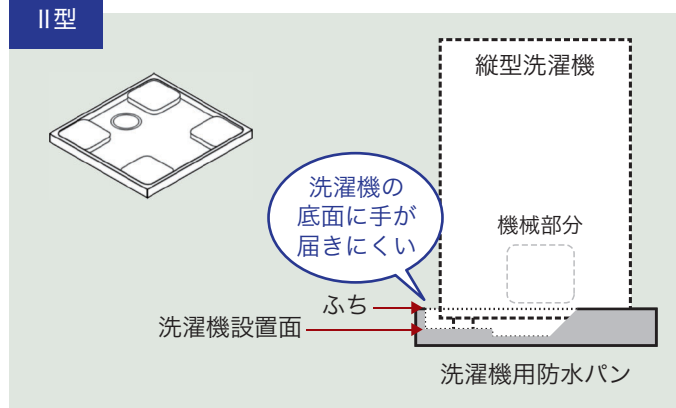
防水パンの種類

洗濯機と防水パンの隙間から手が入りにくく、洗濯機の底面に手が届きにくい※¹

I型



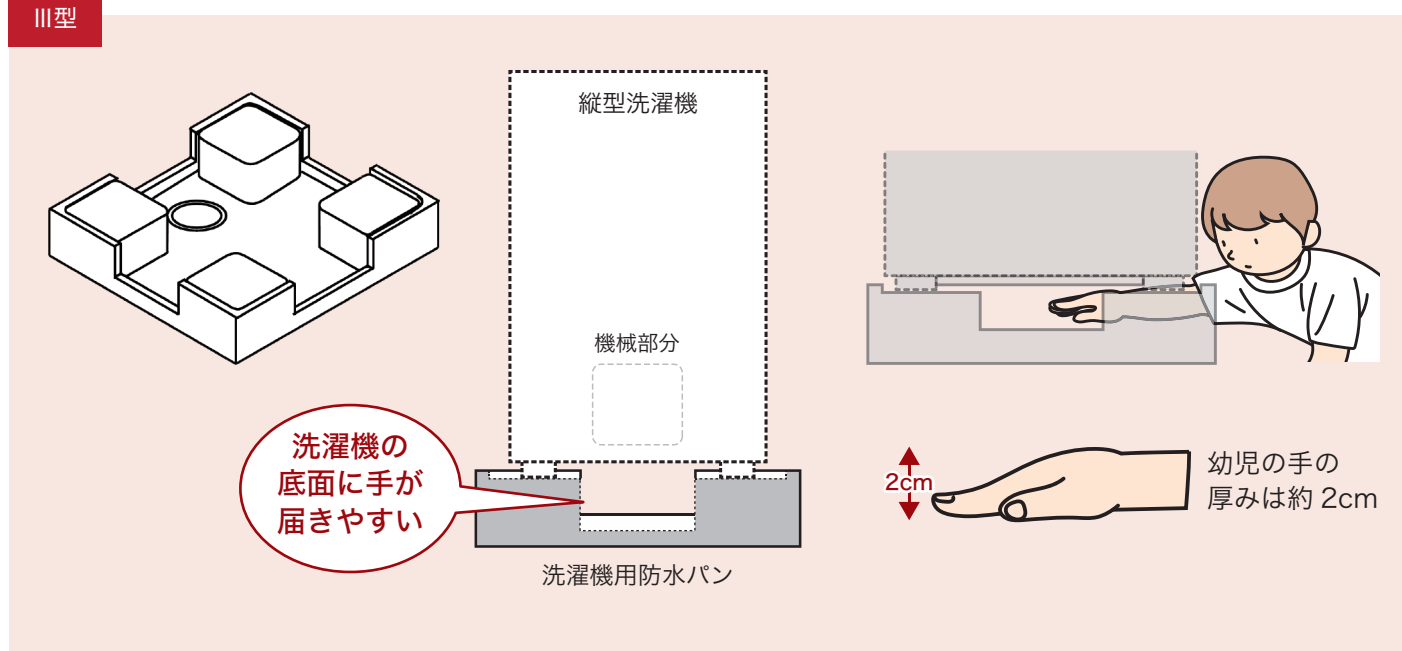
II型



かさ上げされた部分の間の隙間から容易に手が入られ、洗濯機の底面に手が届いてしまう。

(この場合、保護カバー等を用いて隙間をふさぐことが有効※²)

III型



※¹ 幼児の手の厚みは約2センチという統計データがあります【「子どもの身体寸法データベース(一般社団法人人間生活工学研究センター)」をもとに当財団にて独自に分析】。小さなお子様がいる家庭では、子どもの手が入るようなすき間をつくらぬよう注意が必要です。

※² III型を用いる場合は、かさ上げされた部分の間のすき間を保護カバーでふさぐことで、安全に使用することができると考えられ、そうした製品が発売されています。現在のところIII型の防水パンに求められる寸法や強度、保護カバーの取り付け位置などの基準が定まっていないことから、(一財)ベタリービングでは、新たに、安全に使用することができるIII型の性能要件についての検討を進めています。